

CPSテクノロジー企業を 目指して

Aiming to Become a World-Leading Cyber-
Physical Systems (CPS) Technology Company



代表執行役会長 CEO
Representative Executive Officer
Chairman and Chief Executive Officer

車谷暢昭

KURUMATANI Nobuaki

東芝グループは、2018年11月に東芝Nextプランを発表し、新しい環境の下、「世界有数のCPS（サイバーフィジカルシステム）テクノロジー企業」を目指していくことをお伝えしました。CPSとは、実世界であるフィジカルの世界で生まれるデータを、デジタル技術などを用いてサイバーの世界で分析し、付加価値としてフィジカルの世界に戻すシステムです。

近年、地球規模でエネルギーや、都市化、高齢化、人材不足、気候変動、情報爆発などにおける社会課題がますます深刻化しており、その解決は東芝グループの社会的使命と考えています。一方で、今後10年、AIや、ロボティクス、医療分野など多くの技術分野でブレークスルーが起ころ、産業の在り方も大きく変貌していくことでしょう。こうした環境変化の中、東芝グループは、CPS技術を原動力に次の成長に向けて再始動しました。私たちは、創業144年の歴史の中で、お客様とともに築き上げ、幅広い事業領域に根ざしてきた、フィジカルの強いコンポーネントやシステムの技術を保有しています。更に、我が国や世界の第一線を牽引（けんいん）してきた画像認識技術やデータ分析などの高度なサイバー技術も保有しています。これらを融合することで、顧客価値の高い製品やサービスを創出し、グローバルな競争の中を勝ち抜くと同時に企業価値を最大化し、社会課題の解決に尽力して参ります。

東芝グループは、大きな社会プラットフォームを支える製品を供給してきたエネルギーシステム、インフラシステム、ストレージ&デバイス事業に加え、共創によってお客様のデジタル化を支援するインダストリアルICT（情報通信技術）など、幅広い事業を展開しています。また、田中久重、藤岡市助の二人の創業者から脈々と引き継がれてきた“ベンチャースピリットのDNA”が、社員の一人一人に根付いています。長年の事業で培った“モノづくり”の知見と、飽くなき探究心と情熱、更には私たち自身のマインドセットもデジタル変革を進めることで、これからも、人と、地球の、明日のために、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

東芝グループの持つフィジカルとサイバーの技術、そして将来を見据えた最先端の研究開発成果について、是非本文をご一読いただき、皆様のご助言、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。